



たんぽぽ組だより



令和5年3月22日 ときわ保育園 担当: 菅野

冬の厳しい寒さが残っていた2月でしたが、暖かい日が続き、少しずつ春の訪れを感じられるようになりました。

や や や や や や や や や や や や

たんぽぽ組での生活は残すところあとわずかとなりました。お友だち同士の関係もすっかりと深まり、お友だちを気遣う優しい姿が日に日に多く見られるようになっていきます。泣いている子を見つけると「どうしたの?」「痛かたよね。」などと声を掛けて頭を撫でてあげたり、欲しいおもちゃを訴えている子がいると「なに欲しいの?。」と聞いて一緒に探してあげたりと、子ども達自ら丁寧に寄り添ってくれています。そのような姿を見ると微笑ましく思い、また、成長を感じさせられます。これからも保育園が子ども達にとって温かい居場所であり続けられるように努めていきたいです。

さて、最近になって、朝の体育ローテーションや行事の集会などで3歳以上児組との合同での活動を始めています。お兄さん、お姉さんの活動を見て「あれもやりたい!」と意欲を見せているので、引き続き、進級に対して期待感を高められるように関わっていきたいと思います。

保護者の皆様には、ご理解、ご協力をいただき、ありがとうございました。